

兜山石



No. 12
平成22年3月24日
阿蘇北中広報誌係
文責 小原 宮本 西村

「東日本大震災」

校長 麻生 廣文

テレレレの生々しい映像が一瞬目を疑った。そして、画面に釘付けになった。映画の中の出来事と見まがうばかりの惨状に茫然自失であった。三月十一日、卒業式の日の午後、行方不明者は膨大な数に達する模様である。地震と津波の恐ろしさをまざまざと見せつけられた。

今年一月三十一日、兵庫県教育委員会に出張の際に、神戸市の東遊園地に立ち寄った。何事もなく設置されたように、たずねると、中にも「希望の灯り」が設置された。そのように思ふが、燃え続けている。何年経っても忘れてはならない。その翌日、私は小学六年生の担任をしていた。あの日、平成七年一月十七日、私から救済の責任を担っていた。子どもたちには、活動の機会を失った。この復興支援に関するボランティア活動は、集められた日本人の整然とした行動や冷静な対応である。人々が暴動どころか、被災者に対する精神的な支えは計り知れない。このやれるのだ。被災者とその当時の道徳的な責任を公認する。全国から寄せられたボランティアとを関連付けて授業を公開し合う。同僚や哀れみではなく、困る人がいれば日本人の心を開く。七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。

七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。七回忌の今年、その地でお参りできたばかりであった。

第51回 卒業証書授与式

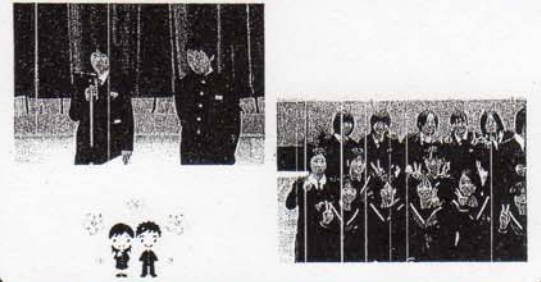
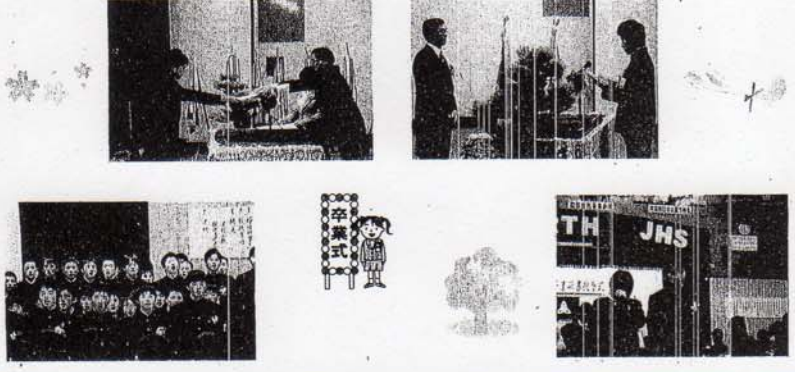
1年生 阿蘇中との交流授業

3月11日(金)、平成22年度 第51回卒業証書授与式があり、109名の生徒が阿蘇北中学校を巣立ちました。式は、厳粛な雰囲気の中行われ、多くの来賓の方や保護者の方にご参加いただきました。

本年度は、本校創立51周年であり、3年生は1年間様々な場面で活躍をしてくれました。在校生代表の中野柊作くんからは「部活動では先輩方を目標としていきたい」とメッセージがありました。卒業生代表である、生徒会長の伊藤宏志くんは3年間の阿蘇北中学校での思いと、保護者の方々への感謝の気持ちが語られました。涙を流しながら、卒業証書を受け取り最後の校歌を歌う姿に感慨深いものがあり、胸に熱いものが込み上げてきました。生徒たちの成長の為に協力いただいた保護者の方々、地域の皆さま本当に有り難うございました。

3月14日(月)、阿蘇中学校の体育館で、阿蘇中学校・阿蘇北中学校の1年生の総合的な学習の時間の学習発表会が行われました。

平成24年度の統合に向けて、両校の親睦を深めるための交流になりました。阿蘇中学校の発表は、人権をテーマにした劇で、とても心に残り、人権について改めて考えさせられました。阿蘇北中学校の発表は、地域体験学習を通して学んだことを発表しました。阿蘇と修学旅行で行く沖縄の自然・食・歴史・文化・観光産業を比較しました。両校とも、真剣な眼差しで、発表を聞いていました。その後、レクリエーションがありました。レクリエーションを通して、両校の仲がより深まったと思います。生徒は、「楽しかった。また、次の交流会が楽しみ」という感想を言っていました。



球技クラスマッチ

第8回 SPRING CONCERT (吹奏楽部)

3月15日(火)に2年生、3月17日(木)に1年生の球技クラスマッチがありました。男子はサッカー、女子はバレー・バスケットボールの種目で競いました。今年度最後のクラスマッチということもあり、保護者の方も応援に来てくださり、各学年ともとても盛り上がるクラスマッチでした。

3月20日(日)本校体育館で、吹奏楽部のスプリングコンサートが行われました。演奏には、卒業生も参加し、オープニング曲の「龍馬伝」に始まり、全9曲を演奏。フィナーレを「A・RA・SHIメドレー」で飾り、会場中が素晴らしい演奏に耳を傾けました。また、多くの生徒や保護者の方々に来ていただき「素敵な演奏でした。いい時間を過ごすことができました」とお褒めの言葉を頂きました。ゲストとして、熊工OBウィンドアンサンブルに参加していただき、会場を巻き込む楽しい演奏でした。会場に足を運んで下さった皆さん有り難うございました。

